

収支不足への対応

新年度予算編成方針の策定(平成26年10月)に当たり、財政推計を実施したところ、約138億円の収支不足が見込まれた。

編成作業を進める中で、直近の経済動向を踏まえ、市税等の確保を図ったほか、歳入・歳出両面において、あらゆる対策を講じ、収支不足を解消した。

(単位:億円)

歳入(A)		歳出(B)		差引 (A-B)
財 政 推 計		実 施 時		△ 138
○歳入確保対策		○歳出削減対策		
市税	+ 25	人件費の削減	△ 6	
譲与税・交付金	+ 13	シーリング等	△ 5	
普通交付税・臨財債	△ 7			
市有資産の売却	+ 30	○その他		
		消費税率引上げ延期 等	△ 10	
○その他財源対策				
退職手当債の発行	+ 31			
財政調整基金の取崩し	+ 10			
市債管理基金からの借入	+ 15			
合計	+ 117	合計	△ 21	+ 138